

科 目 名

学 外 実 習 Internship

3年 前期 1単位 選択

林 健一・上野 賢仁

概 要

学外実習の形態としては、地域づくりやまちづくり等の地域活動に参加し地域の発展に協力する形態、自治体や企業等の環境および建設部門での実習、あるいは環境建設工学科の教育目標に沿った内容であればこれらに順ずる諸団体での実習等を対象とする。実習期間は継続的なものと夏期休暇等の集中的なものがあるが、実質の実習時間が30時間以上になることが必要である。実社会や企業での様々な経験は、勉学や就職に対する問題意識を高めるための助けになり、また多くの人々との交流から礼儀、社会性、協調性、積極性等を身につけることもでき、卒業後の進路の決定においても参考になる。

履修目標

- ① 積極的に学ぶ姿勢を身につける
- ② 就職に対する意識を高める
- ③ 社会性、協調性、積極性等を身につける
- ④ 社会の中で様々な経験を積み勉学の励みにする。

受入先の確保

学生自身が探してくることが望ましいが、場合によっては大学からの紹介も可能である。実習において先方の評価が高ければ就職先の確保につながることも期待できる。

実習における留意点

実習の受け入れは先方の好意によるものであることを理解し、与えられた課題に積極的に取り組むこと。また、安全、健康等に留意し先方の迷惑にならないようにすること。

評価方法

指定の実習計画書、実習報告書および実習先の実習証明書等から総合的に評価する。

備 考

傷害保険については、授業の一環であれば学生自身に対しては入学時に加入しているもので対応が可能である。ただし、他人に損害を与えた場合の保険は含まれていないので、安全を考えるとそのような保険に加入しておく必要がある。